

2025年度

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会臨時総会

## 議 案 書

日 時           2026 年 2 月 7 日（土曜日） 13 時 00 分

会 場           WEB 開催

一般社団法人  
岩手県臨床衛生検査技師会

## 2025年度臨時総会次第

- 1 開会の辞
- 2 会長挨拶
- 3 議長選出
- 4 総会役員選出 資格審査委員・議事運営委員・書記・議事録署名人
- 5 総会成立の確認
- 6 報告事項
- 7 議事
  - 第1号議案 定款の変更案について
  - 承認第1号 組織運営規程について
  - 承認第2号 役員選任規程について
  - 承認第3号 役員等の報酬及び費用に関する規程について
- 8 総会役員解任
- 9 議長解任
- 10 その他
- 11 閉会の辞

## 報告事項

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会会員の皆様、日頃当会に対しましてご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、昨年度は岩手県臨床衛生検査技師会設立 70 周年、法人化 35 周年にあたり、格別のご支援を頂きまして誠に感謝申し上げます。おかげさまを持ちまして学会、記念式典、記念祝賀会、記念誌の発行の 4 事業を滞りなく実施する事ができました。

さて、本年度は岩手県臨床衛生検査技師会地区の再編を行う事が総会で決議され、これに伴い定款、諸規定の見直しを常務理事会で進めており、令和 7 年 11 月 20 日の理事会で承認されました定款の変更内容を日臨技の役員改正の時期と合わせて登記するために、臨時総会での決議の必要性が生じました。合わせて一部改正になる組織運営規程、全部改正となる組織図、役員等選任規程、役員等の報酬および費用に関する規程についても同日理事会で承認されました。役員等の選任については役員になると代わりの方が見つけれず担当者が複数年に渡り難儀する現状を踏まえ、新たな選任のルールを策定致しました。これらは理事会決議事項で、すでに決定しておりますが、皆様に直接関わる事ですのでこの臨時総会の機会に同時にお知らせ致します。

臨時総会議案書を確認され、決議にご参加をお願い致します。

どうぞよろしくお願い致します。

(一社) 岩手県臨床衛生検査技師会

会長 高橋 一博

## 第1号議案

定款の変更案について

以下に定款変更箇所（案）の新旧対照表を記載します。

全文は資料1を参照して下さい。

### 岩臨技 定款 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p><b>第1章 総則</b></p> <p>第6条（規律） この法人は、理事会の決議により別に定める<u>理念と規範および倫理規程</u>に則り、事業を公正かつ適正に運営し、第3条に掲げる目的の達成と社会的信用の維持・向上に努めるものとする。</p> <p><b>第2章 会員</b></p> <p>第8条（入会） 正会員または賛助会員として入会しようとする者は、別に定める入会申込書により申し込むものとする。<u>申込方法は、次に定めるとおりとする。</u></p> <p>(1) <u>正会員 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会（以下「日臨技」という。）に対して会員申込手続きを行う際、所属都道府県として岩手県と申し込みを選択した者。</u></p> <p>(2) <u>賛助会員 所定の賛助会員申込書により、この法人に対して申し込みを行った者。</u></p> <p>第10条（退会） 正会員および賛助会員は、<u>任意に退会することができる。退会の方法は、次に定めるとおりとする。</u></p> <p>(1) <u>正会員 日臨技を退会したときは、この法人の正会員としても退会したものとみなす。</u></p> <p>(2) <u>賛助会員 申込年度の末日をもって自動的に退会となる。</u></p> <p><b>第4章 役員および理事会</b></p> <p>第34条（開催） 理事会は毎事業年度4回開催するほか、次の各号に該当する場合に開催する。</p> <p>(1) 会長が必要と認めたとき。</p> <p>(2) 会長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面を持って会長に招集の請求があったとき。</p> <p>(3) 前号の請求があった日から5日</p>	<p><b>第1章 総則</b></p> <p>第6条（規律） この法人は、理事会の決議により別に定める<u>倫理規程の理念と規範</u>に則り、事業を公正かつ適正に運営し、第3条に掲げる目的の達成と社会的信用の維持・向上に努めるものとする。</p> <p><b>第2章 会員</b></p> <p>第8条（入会） 正会員または賛助会員として入会しようとする者は、別に定める入会申込書により申し込むものとする。</p> <p>第10条（退会） 正会員および賛助会員は、<u>退会届を提出して任意に退会することができる。</u></p> <p><b>第4章 役員および理事会</b></p> <p>第34条（開催） 理事会は毎事業年度4回開催するほか、次の各号に該当する場合に開催する。</p> <p>(1) 会長が必要と認めたとき。</p> <p>(2) 会長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面を持って会長に招集の請求があったとき。</p> <p>(3) 前号の請求があった日から5日</p>	<p>（変更）</p> <p>（変更・追加）</p> <p>（変更・追加）</p>

<p>以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする、理事会の招集通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき。</p> <p>(4) 第28条第1項第6号の<u>規定</u>により、監事から会長に招集の請求があったとき、または監事が招集したとき。</p> <p><b>第5章 財産および会計</b></p> <p>第47条 (会計原則等) この法人の会計は、一般に公正妥当と認められる会計の慣行に従うものとする。</p> <p>2 この法人の会計処理に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める<u>会計事務取扱規程</u>によるものとする。</p> <p><b>第8章 事務局</b></p> <p>第53条 (設置) この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。</p> <p>2 事務局には、事務局長および所要の職員を置く。</p> <p><u>(削除)</u></p> <p><b>第9章 情報公開および個人情報の保護</b></p> <p>第55条 (情報公開) この法人は、公正で開かれた活動を推進するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開するものとする。</p> <p>2 情報公開に関する必要な事項は、<u>理事会の決議より別に定める情報公開規程によるものとする。</u></p> <p>第56条 (個人情報の保護) この法人は、業務上知り得た個人情報の保護に万全を期すものとする。</p> <p>2 個人情報の保護に関する必要な事項は、<u>理事会の決議により別に定める個人情報保護に関する規程によるものとする。</u></p> <p><b>附則</b> (略)</p> <p>4. <u>この定款は、平成元年1月14日に制定され、以下のとおり改正された。改正の詳細は、別紙の新旧対照</u></p>	<p>以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする、理事会の招集通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき。</p> <p>(4) 第28条第1項第6号の<u>規程</u>により、監事から会長に招集の請求があったとき、または監事が招集したとき。</p> <p><b>第5章 財産および会計</b></p> <p>第47条 (会計原則等) この法人の会計は、一般に公正妥当と認められる会計の慣行に従うものとする。</p> <p>2 この法人の会計処理に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める<u>経理規程</u>によるものとする。</p> <p><b>第8章 事務局</b></p> <p>第53条 (設置) この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。</p> <p>2 事務局には、事務局長および所要の職員を置く。</p> <p><u>3 事務局長および重要な職員は、会長が理事会の承認を得て任免する。</u></p> <p><u>4 事務局の組織および運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。</u></p> <p><b>第9章 情報公開および個人情報の保護</b></p> <p>第55条 (情報公開) この法人は、公正で開かれた活動を推進するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開するものとする。</p> <p>2 情報公開に関する必要な事項は、<u>理事会の決議により別に定める。</u></p> <p>第56条 (個人情報の保護) この法人は、業務上知り得た個人情報の保護に万全を期すものとする。</p> <p>2 個人情報の保護に関する必要な事項は、<u>理事会の決議により別に定める。</u></p> <p><b>附則</b> (略)</p>	<p>(表記修正)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(新設)</p>
---	---	---

<p><u>表により管理する。</u></p> <p>(1) <u>令和8年2月7日 第8条、第10条および第53条の改正、各規程の修正、表記統一、体裁の整備</u></p> <p>※ 全体（略）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 表記統一（「および」「または」「もしくは」「ならびに」「あらかじめ」等をひらがな表記に統一）。</li> <li>• 体裁整備（インデント、句読点、条番号の揃え等）。</li> <li>• いずれも文意に変更を加えるものではない。</li> </ul>	<p>※ 全体（略）</p>	<p>（修正）</p>
--	----------------	-------------

【注記】

- 第6条、第8条、第10条、第47条、第53条、第55条および第56条について、現行の運用および規程整備に基づき条文の修正・削除を行った。
- 附則第4項は、改正履歴の記録を明示するため新設したものである。
- 定款全体において、語句の表記統一（「および」「または」「もしくは」「ならびに」「あらかじめ」等をひらがな表記に統一）および体裁の整備（インデント、句読点、条番号の揃え等）を実施した。これらはいずれも文意に変更を加えるものではない。

**承認第 1 号**

組織運営規程について

全文は資料 2、3 を参照して下さい。

**承認第 2 号**

役員選任規程について

全文は資料 4 を参照して下さい。

**承認第 3 号**

役員等の報酬及び費用に関する規程について

全文は資料 5 を参照して下さい。